

販売革新部門

熊本県八代市 フィールドマスター合同会社

(代表：林 孝憲 はやし たかのり)



- 経営規模：26.5 ha（稲 WCS 14.0 ha、イタリアンライグラス 10.0 ha、ブロッコリー0.6 ha、バレイショ 1.9 ha）
稲 WCS 作業受託 145.0ha

（注）数字は令和5年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ フィールドマスター合同会社は、先代が平成11年の台風による塩害を契機にイ草栽培から飼料用稲栽培へ転換を行い、平成22年に会社を設立した。現代表は、肥料メーカーを退職して同社に就農し、令和3年に経営を継承した。
- ・ 自社や連携する地元八代市の耕種農業者が野菜やイ草の裏作として生産する稲 WCS は、生育期間が短い品種を選ぶことで3ヶ月間もの収穫期間を確保し、収穫やラッピングの作業時期の分散が可能となり、少ない労働力で大量生産を実現している。
- ・ このように生産した稲 WCS を県北部の畜産農業者に販売し、その畜産農業者から購入した牛糞堆肥を輸送コストを抑えるために出荷後の空き荷を活用して、県南部の耕種農業者へ販売するという資源循環型の仕組みを構築することで、地域農業の維持・発展に貢献している。